

# 三溪園

百年の梅の香りと  
おもてなし

## 三溪園 観梅会

PLUM BLOSSOM VIEWING

2018年 2/10(土) - 3/4(日)

### 三溪園で過ごすお正月

横浜市指定有形文化財 鶴翔閣公開  
Japanese Traditional Events in Kakushokaku at New Year

2018年1/1(月・祝)~1/3(水)

1/1 箏曲演奏 (アトリエ箏こだま)

1/2 庖丁式 (横浜萬屋心友会・興禅寺雅楽会)

1/3 和妻 (北見翼)

### 盆栽展

Bonsai Exhibition

2018年1/7(日)~21(日)

共催: 横浜三溪園皐月会

### 初天神

Hastsutenjin (Sankeien Tenmangu Shrine Ceremony)

2018年1/25(木)



参拝者には、合格祈願鉛筆を進呈します。【先着200名様】

### 関連の催し

- 期間中毎日 初音茶屋での麦湯無料接待
- 2/11(日)~18(日) ウメなどの盆栽展
- 2/25(日) 俳句大会 参加費 ¥1,000  
共催: 横浜俳話会
- 2/10~3/3の  
土・日曜日 猿まわし(太郎次郎一門)
- 3/4(日) お囃子(横濱本牧囃子連)

国指定名勝 **三溪園**  
SANKEIEN GARDEN

〒231-0824 横浜市中区本牧三之谷58-1  
58-1, Honmoku-sannotani, Naka-ku, Yokohama City 231-0824

TEL 045-621-0634・5

<http://www.sankeien.or.jp>

# 三溪園 観梅会

PLUM BLOSSOM VIEWING

## 三溪園の梅

三溪園の梅は明治41(1908)年に、江戸時代から名所として知られた小向(川崎)・杉田(横浜)・蒲田(東京)から約2,000本を移植したことに始まります。今でも一部が残る臥竜梅(がりよばい)は、日本画家・下村観山がその横たわる竜のような枝ぶりに想を得て、屏風絵の名作「弱法師(よろぼし・東京国立博物館所蔵、重要文化財)」を描いたことで知られています。

老朽による枯死や第二次大戦の被害などでその数は少なくなりましたが、昭和52年に横浜市の友好都市、中国・上海市から贈られた紅梅・緑萼梅(りよくがくばい)82本が加えられ、現在では約600本を数えます。

## 初音茶屋と湯茶の接待

外苑庭園の奥にある六角の簡素なあずまや「初音茶屋」では、明治39(1906)年の開園当時から麦湯や香煎を入れた白湯が常に用意され、誰もがいつでも自由に飲むことができました。三溪園に2か月余を過ごしたインドの詩聖・タゴールや園の創設者・原三溪の長男の友人であった芥川龍之介もここに親しんだことが知られています。「誰もがお茶をふるまわれる。」(ラビンドラナート・タゴール著「日本紀行」)「ひとはかりうく香煎や白湯の秋」(芥川龍之介の句 大正4年)

この接待は、その後戦争などでいつからか途絶えましたが、昭和57年2月に保管されていた茶釜がこれに使われていたものであることが判明し、以来観梅会の期間中には、昔にならって茶釜をつるして麦湯をふるまっています。



## 三溪園で過ごすお正月

横浜市指定有形文化財 鶴翔閣公開  
Japanese Traditional Events in Kakushokaku at New Year

2018年1/1(月・祝)～1/3(水)

三溪園の創設者・原三溪の旧宅である鶴翔閣は、明治35年に建てられた延床面積950㎡を誇る壮大な木造建築で、かつて横山大観や和辻哲郎など多くの文化人が出入りしたことで知られています。期間中は、日替わりの催しも楽しめます。



公開時間:9:00～16:00

- 1/1(月・祝) 箏曲演奏(アトリエ箏こだま)  
10:00～/11:00～/12:00～/13:00～/14:00～/15:00～
- 1/2(火) 庖丁式(横浜萬屋心友会・興禅寺雅楽会)  
11:00～/14:00～
- 1/3(水) 和妻(北見翼)  
11:00～/13:00～/15:00～

## 盆栽展

Bonsai Exhibition

2018年1/7(日)～21(日)  
9:00～16:00(最終日は15:30まで)

松柏類、花梨、椿、雑木を中心とした盆栽約50鉢を展示。鉢上の小さな自然が楽しめます。期間中は盆栽の手入れに関する相談も随時受け付けます。

共催:横浜三溪園臈月会



## 初天神

Hastsutenjin(Sankeien Tenmangu Shrine Ceremony)

2018年1/25(木)  
祭礼11:00～/一般参拝11:20頃～

三溪園天満宮は、三溪園にほど近い間門の旧家・高梨家が江戸時代に同地の丘の中腹に祀った間門天神がその前身です。

参拝者には、合格祈願鉛筆を進呈します。

[先着200名様]



国指定名勝  
**三溪園**  
SANKEIEN GARDEN

http://www.sankeien.or.jp  
TEL 045-621-0634・5

- 休園日:12/29～31
- 開園時間:9:00～17:00(入園は16:30まで)

入園料(2017年7月1日より料金改定しました)  
大人 ¥700[¥600] 小学生・中学生 ¥200[¥100]  
※[ ]内の料金は、10名以上の団体料金 ※詳細はお問い合わせください

- 交通:JR根岸線根岸駅からバスで10分、「本牧」下車、徒歩10分/横浜駅東口からバスで35分、「三溪園入口」下車、徒歩5分/桜木町駅からバスで25分、「三溪園入口」下車、徒歩5分/みなとみらい線元町・中華街駅4番出口バス停「山下町(タワー入口)」からバスで15分、「三溪園入口」下車、徒歩5分
- ※ぶらり三溪園バス「三溪園」(駐車場内)下車、すぐ

〒231-0824 横浜市中区本牧三之谷 58-1 58-1, Honmoku-sannotanai, Naka-ku, Yokohama City 231-0824

**ぶらり三溪園BUS** 土・日曜日、祝日限定

横浜駅方面から三溪園の目の前(駐車場内)まで運行



※他の三溪園方面のバスルートとは異なります。詳しくは横浜市交通局へお問い合わせください。